

コスモス咲く「斑鳩の里」三塔めぐり ＝ 法隆寺から法起寺・法輪寺へ ＝

例年 10 月中旬から 11 月上旬にかけてコスモスが見頃を迎え、日本最古の三重塔を背景にしたコスモス畑が広がります。

この時期、斑鳩の里を歩いてみませんか？

法隆寺の五重塔、法輪寺、法起寺の三重塔は、斑鳩三塔と呼ばれています。

法隆寺の伽藍の中へは入りませんが、境内をゆっくり見学しましょう！

そして、のどかな斑鳩の田園風景のなか、法起寺、法輪寺へと飛鳥時代から奈良時代にかけて創建された仏教遺産を巡ります。

法輪寺には飛鳥時代の木彫如来像としては唯一・最大のものといわれる薬師如来座像他、4m近くある十一面觀音像等、見応えある仏像が 11 体一堂に会します。今回、ここ法輪寺を拝観したいと思います。



1. 日時: 2025 年 10 月 23 日(木) 10 時～15 時 30 分

(前日 17 時、気象庁天気予報「奈良県北部」の午前又は午後の降水確率 50%以上で中止)
中止の場合、前日夜 21 時までに事務局よりメールで連絡します。

2. 集合場所・時間: 法隆寺 i センター(法隆寺参道前)に午前 10 時集合

- 法隆寺駅より奈良交通バス 72 系統 法隆寺参道行 9:12 9:32 9:55
法隆寺参道前下車 乗車時間 約 8 分 ￥220
- または、JR 王寺駅より奈良交通バス 62 系統 西大和営業所行 9:22 9:42
法隆寺前下車 乗車時間 21 分 ￥340
- または、法隆寺駅から歩いて 15 分～20 分

3. コース: 法隆寺(西円堂) ⇒ 中門 ⇒ 東大門 ⇒ 夢殿 ⇒ 中宮寺 ⇒ 中宮寺跡史跡公園 (お弁当) ⇒ コスモス畑 ⇒ 法起寺 ⇒ 法輪寺(拝観料 500 円) ⇒ 三井の井戸 ⇒ 斑鳩神社 ⇒ 法隆寺 i センター(解散) ※ 全行程 7 キロ弱 平坦な道です。

※ 帰り… 法隆寺 I センターの前から法隆寺駅行バス、または、道路を渡って王寺行きバスあり。

4. 案内人: 玉尾洋、玉尾ひ

5. 持物: 弁当、飲物、雨具、敷物、他各自必要なもの

担当: よりみちスタッフ 玉尾ひとみ 080-3111-1411、上森節子 090-6055-7144

今回訪ねる斑鳩の寺院 他

法隆寺：推古13年(605年)：聖德太子斑鳩の宮に移り住む。

推古14年(606年)：用明天皇の願いを受け継ぎ推古天皇と聖德太子が
(斑鳩寺= 若草伽藍)を建立。

推古30年(622年)：聖德太子没

皇極 2年(643年)：山背大兄王自殺、斑鳩の宮焼失

天智 9年(670年)：若草伽藍(斑鳩寺)火災で焼失

時をおかず、西院伽藍の建設(斑鳩寺の再建?)

和銅 4年(711年)：西院伽藍の主要な建物は概ね出来上がっていた。

天平11年(739年)：斑鳩宮跡近辺に行信僧都が太子供養の伽藍、上宮王院を建立。

永久 4年(1116年)：上宮王院が法隆寺と一体化。東院伽藍と呼ばれる。(中心は夢殿)

安土桃山 16世紀末：中宮寺が現在地に移転

昭和14年(1939年)：法隆寺の焼失遺構「若草伽藍」の発掘調査

平成 5年(1993年)：「法隆寺地域の仏教建造物」として、法起寺とともに、
日本最初の世界文化遺産に登録される。

中宮寺：大和尼三門跡寺院の一つ。本尊は飛鳥時代後期の作、如意輪觀音像

現存で日本最古の刺繡「天寿国繡帳」(天寿国曼荼羅、国宝)を所蔵。

中宮寺跡史跡公園：中宮寺創建の場所。聖德太子が母の穴穂部間人皇后の為に建立した

御所跡を寺にしたと伝わる。塔、金堂の基壇が土壇状に高まりとなり残っている。

発掘調査の結果、塔、金堂が一直線に並ぶ「四天王寺式伽藍配置」であつとことが
わかった。秋のコスモスの時期は多くの人が訪れる。又、東屋から三塔を見ることができる。

法起寺：太子が法華経を講じた「岡本宮」を太子の遺言により、その子山背大兄王が

寺に改めたもの。三重塔は高さ24m。706年に完成したとされ、最古のもの。

法隆寺とともに「世界文化遺産」に登録された。

法輪寺：三井の地に位置することから「三井寺」とも呼ばれる。

① 622年山背大兄王とその子が太子の病気平癒を祈るために建てた、

② 法隆寺焼失後に百濟の開法師他3人が建てたとの2説がある。

創建当時の三重塔は、落雷により焼失。現在の塔は→作家 幸田文氏らの尽力で
1975年に西岡常一棟梁等により再建されたもの。

東に金堂、西に塔が建つ「法隆寺式伽藍配置」

講堂(収蔵庫)には本尊の薬師如来像他、11体の仏像が一堂に安置されている。

三井の井戸：聖德太子が、わが子の産湯を使うために三つの井戸を掘ったと言われ

その中の現存する唯一の井戸「赤染井」と呼ばれる。

古代朝鮮と同じ形式で技術上貴重なもので、現在も水をたたえている。